

NPO 法人 静岡情報産業協会

2019 年度 第 3 回 理事会 議事録

開催日時:令和元年 6 月 25 日(火) 15:00~16:50

開催場所:静岡商工会議所 401会議室

出席者:(理事)石井潔理事長、久保田光二副理事長(議長)、漆畑晃司、岸本道明、
小林裕敏、齊藤弘幸、白崎利哉、村松克己 (監事)上田和博

委任状:森永春二(副理事長)、稲葉豊穂、北川幹根、渡邊治彦 (以上、敬称略)

欠 席:なし

事務局:藤田英治、桜井俊秀

開会 石井理事長あいさつ

議事 久保田副理事長が議長に就任し以下の議事に入った

1. 報告

(1) 年間活動計画の確認と 3 事業部会メンバー募集状況について

① 年間活動計画の確認

- 別添、「各部会年間活動計画表」に従って事務局から説明

② 3 事業部会メンバー募集状況

- 別添「2019 年度事業部会メンバー」表に従って事務局から説明

- 人材育成・教育研修部会(6 社、8 名)、ビジネスマッチング部会(3 社 3 名)、人材開拓推進部会(6 社 8 名)

- 各部会長は、次の通り決定した

人材育成・教育研修部会(正:米良、副:花沢)、ビジネスマッチング部会
(正:磯田、副:中島、山口)、人材開拓推進部会(正:渡辺、副:宇賀田)

③ 本年度各部会事業概要は下記の通り

- 各社、社内に情報が行き届いていない旨の発言があり、今後周知を図る方法を事務局で検討して行くことを説明

- 静大提携技術研修(塩見教授に依頼)は、8/22~24、9/26~28 の予定で、近日中に発信予定

- 他部会活動も、事業計画表に記載の通りに準備を進めているところ

(2) 3 事業部会の担当理事(主・副)決定の件

- 本件については、その場で出席理事互選により下記の通り決定した

① 人材育成・教育研修部会(渡邊治彦、齊藤弘幸、白崎利哉)

- ② ビジネスマッチング部会(小林裕敏、漆畑晃司、北川幹根)
 - ③ 人材開拓推進部会(村松克己、岸本道明、稲葉豊穂)
なお、本年度においては、正副の役割は振らず、極力全理事協力で参加されるよう、久保田副理事長から要請があった
- (3) その他
- ① 通常総会後の理事会(理事長選任)に係る各理事からの押印(実印)および印鑑証明書の徴収ならびに登記の件
 - 事務局が用意した「理事会議事録」ならびに「登記用委任状」への押印および印鑑証明書は、今後事務局長が事前連絡の上、該当する理事各位のもとに伺うのでご協力をお願いしたい旨、事務局から説明
 - ② 深圳視察先について
 - 今回は 5 社 7 名および静鉄観光サービスの添乗員の計 8 名の参加
 - 6 月 27 日(木)15:30 関西空港発～6 月 30 日(日)14:30 関西空港着
 - 視察先については、当初深圳市を通じて視察先の紹介を受けていたが、最終的に藤田事務局長が面識のある深圳市貿易経済代表事務所(在京)の首席代表と副所長にアポイントを取って頂き若干の変更があった
 - G20 開催日程と重なるため、集合時刻を早めるよう説明会にて周知済み
 - 7 月 5 日(金)開催予定の会員ニーズ対応セミナー「テレワーク導入の現状と課題」(講師:小豆川常葉大学准教授)は、現在 15 名の受講希望にとどまっており、更なる受講者確保をめざし、事務局より各理事に応援要請
 - ③ 今期会議開催予定
別添予定表に従って説明と確認

2. 協議および審議事項

- (1) 静岡商工会議所会報「Sing」掲載の「暑中見舞名刺広告」(15,430 円)の掲載可否の件(例年、同様の掲載を行っている) …… 承認
- (2) SIIA会員の株イブリオ代表取締役の石田卓也氏が 5 月に逝去され、既に密葬は済んでいるが、7 月 30 日に都内で「お別れの会」が開催されるので、供花に関する規約等がないため如何にするか久保田副理事長から諮問されたため、協議の結果「1 万円の香典を奉呈する」との意見に集約され議決を諮り本案が承認された(齊藤弘幸理事が参加予定のため香典奉呈を依頼)
- (3) 今期会議開催予定の一部開催時間変更の件
報告事項(3)③の「今期会議開催予定表」で、理事会を 16:00～17:00 の間の開催とし、併せて運営委員会を 15:00～16:00 のとすることで、部会メンバーの便宜を図りたいと久保田副理事長から提案があり、可決承認された

3. 連絡事項

(1) 事務局移転に伴う諸事連絡

- 6月27日に什器等を搬出するので、希望者は引き取っていただきたい
- 電話、FAXなど切り替えに時間を要するので、その間転送などで対応しご迷惑をおかけしないよう心がける

(2) 漆畑理事より

- 近々「RPA」に関する勉強会の静岡支部の起ち上げに関わることになり、従来にない手法によるフラットかつ簡便な方法により参加を募るので、SIIAを通じての発信について理解、協力を頂きたいとの要請があった

この件に対し、久保田副理事長から、ビジネスマッチング部会での扱いも視野に入れて行ったら如何か等のアドバイスがあった

今後、このような外部の情報も含め、SIIA会員の社員層にまでも情報が流布されるような手法も考えて行くことを考えており、丁度良い試金石となると思われるので、協会としてもバックアップして行きたい(事務局)